

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第34週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が52例あった。第33週目までの届出は294例であり、届出総数は346例となった。

全数報告の感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	無症状病原体保有者	—
			90歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
		日向	50歳代	男	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	10歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O26(VT型不明)
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

指定感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群										症状	
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代		100歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	25例		1	1	2	4	3	2	1	5	5	1	発熱、咳、倦怠感、咽頭痛等
	都城	13例		1	3		2	4	1	1		1		
	延岡	7例			1	1		1	2		2			
	高千穂	1例						1						
	日向	2例				1		1						
	中央	4例	1	1			2							

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は298人(定点当たり9.1)で、前週比149%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

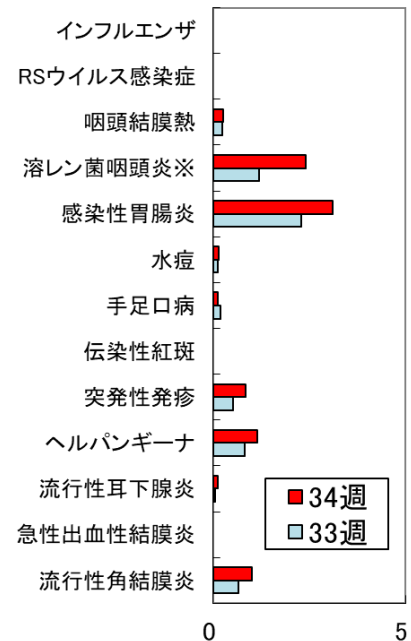
報告数は87人(2.4)で、前週比201%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約2.0倍であった。日南(5.7)、宮崎市(4.0)、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は3~5歳が全体の約4割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は41人(1.1)で、前週比137%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約0.5倍であった。日南(4.3)、都城(3.5)、高千穂(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

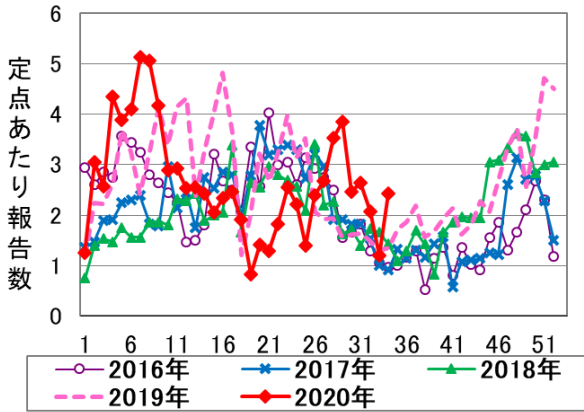
《前週との比較》



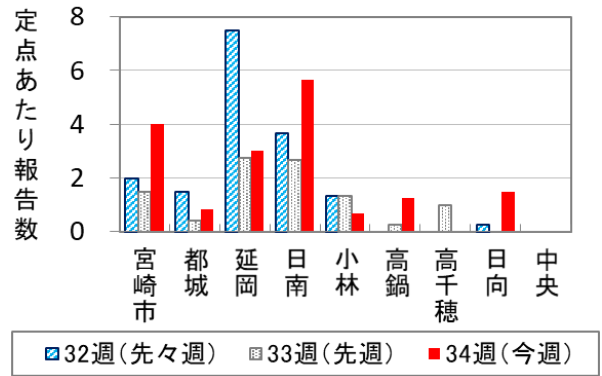
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

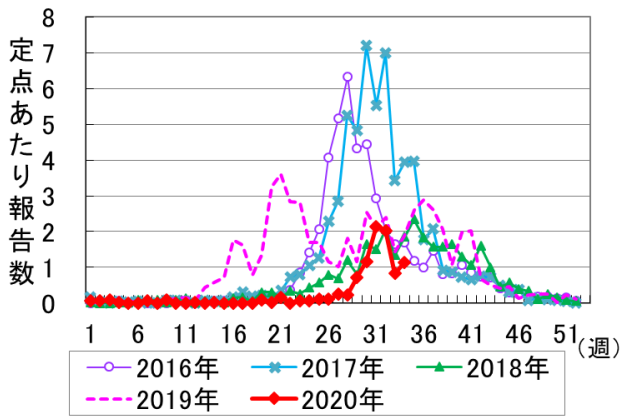
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



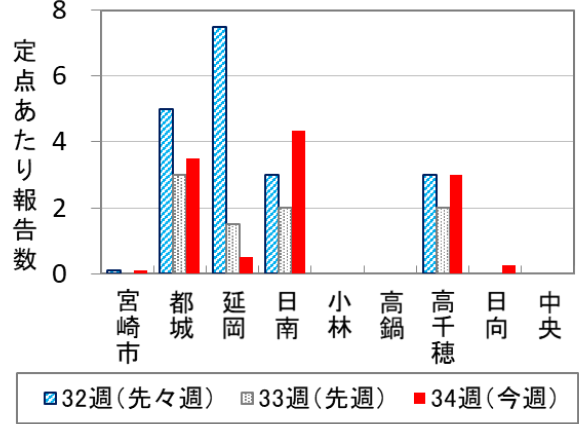
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

流行注意報レベル基準値
・水痘(1)

🇯🇵 全国 2020 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 33 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	219 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	74 例				
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱	4 例	レジオネラ症	54 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	45 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	百日咳	4 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 62%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は1,072人(0.4)で前週比56%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約0.3倍であった。福岡県(1.4)、宮崎県、鳥取県(1.2)からの報告が多く、年齢群別では2歳から5歳が全体の約4割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は1,187人(0.4)で前週比53%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約0.2倍であった。佐賀県(4.6)、熊本県(4.3)、大分県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第34週(08月17日～08月23日)

疾病名	第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	9	4	3	1		1			
	定点当り	0.23	0.25	0.40	0.50	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	42	87	40	5	12	17	2	5	6	
	定点当り	1.20	2.42	4.00	0.83	3.00	5.67	0.67	1.25	0.00	1.50
感染性胃腸炎	報告数	80	112	20	20	3	15	17	17	13	7
	定点当り	2.29	3.11	2.00	3.33	0.75	5.00	5.67	4.25	0.00	3.25
水痘	報告数	4	5	1	1	1		1			1
	定点当り	0.11	0.14	0.10	0.17	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	4		1	1	2				
	定点当り	0.20	0.11	0.00	0.17	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	30	12		5	1	4	5	2	1
	定点当り	0.51	0.83	1.20	0.00	1.25	0.33	1.33	1.25	0.00	0.50
ヘルパンギーナ	報告数	29	41	1	21	2	13		3	1	
	定点当り	0.83	1.14	0.10	3.50	0.50	4.33	0.00	0.00	3.00	0.25
流行性耳下腺炎	報告数	2	4	1		1					2
	定点当り	0.06	0.11	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	4	6	5		1					
	定点当り	0.67	1.00	1.67	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～34週)

2類感染症	結核	113例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	12例(1)
	破傷風	3例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	346例(52)	重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	6例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲